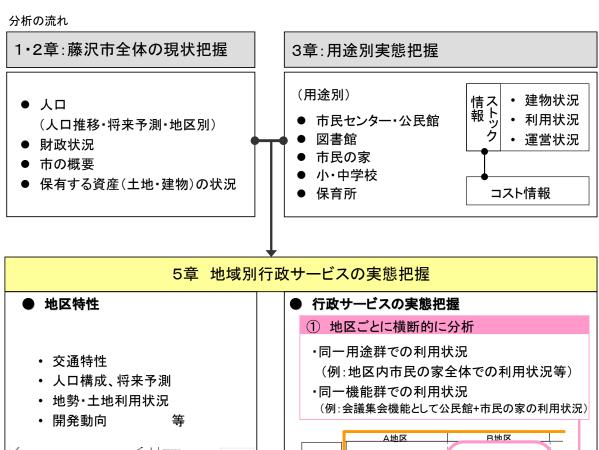
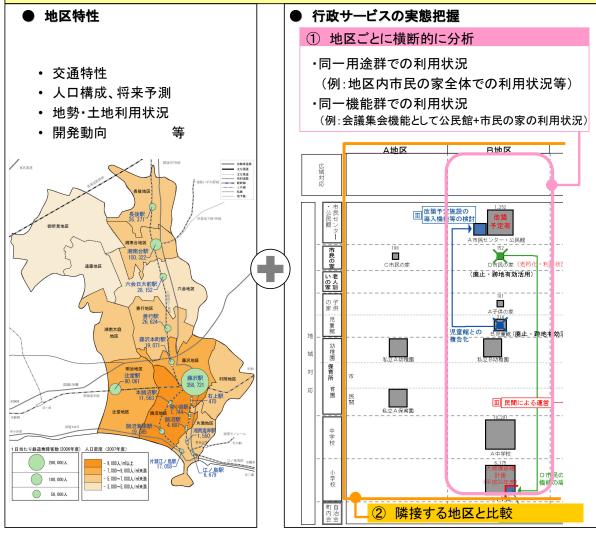
第5章 地区別に見た地域対応施設の実態

1. 分析の流れ

1・2章で整理した市全体の現状及び3章で整理・分析した用途別の施設及び行政サービスの実態を、5章 では地区特性・今後の地区別人口構成変化をふまえた上で、地区ごとに用途・機能を横断的に分析し、13地 区それぞれの行政サービスの実態を整理しました。

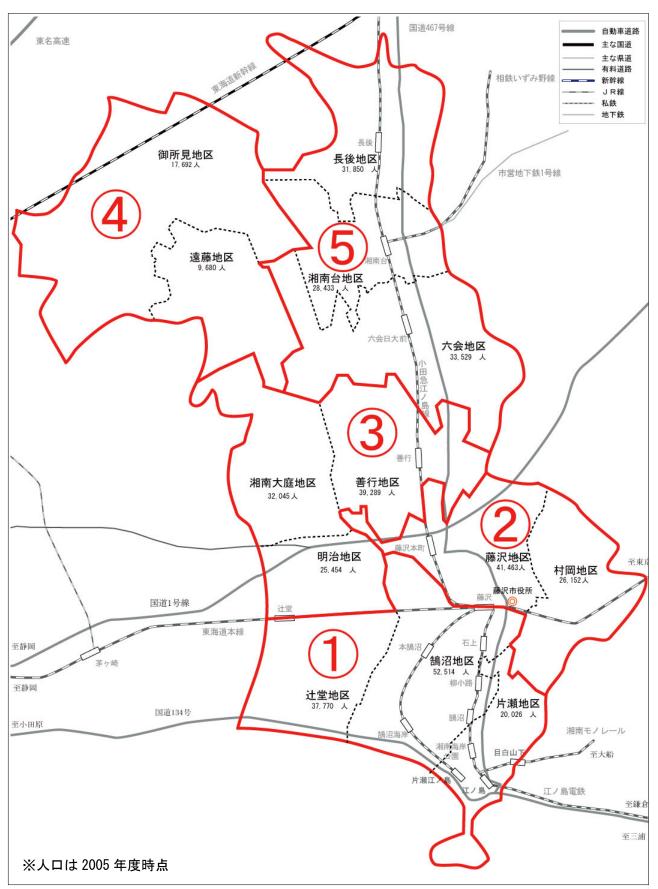
図 分析の流れ





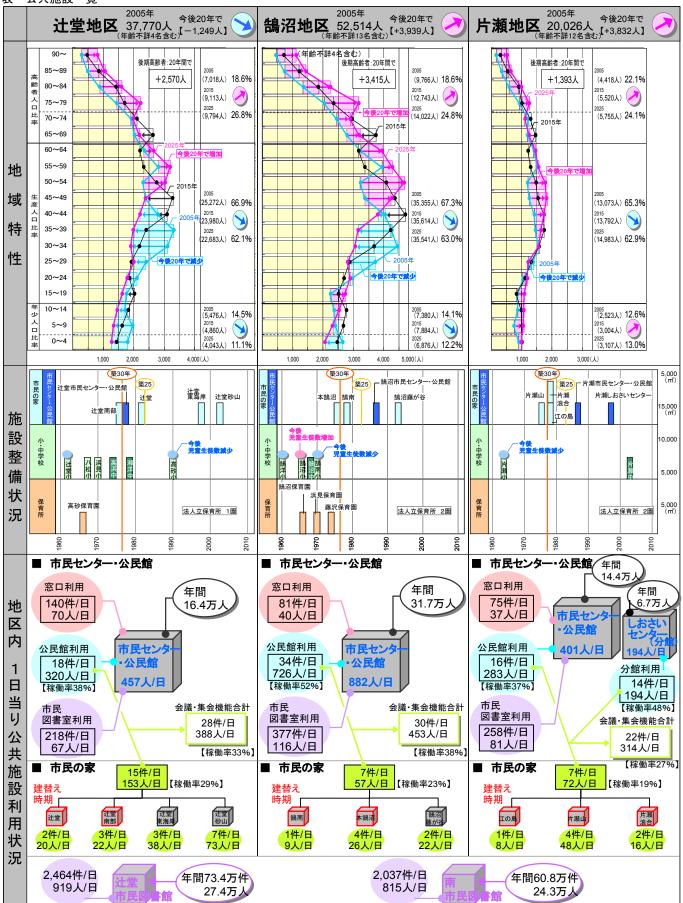
2. 地区別実態把握

各地区で行われている行政サービスの実態を整理し、隣接する地区ごとにまとめました。



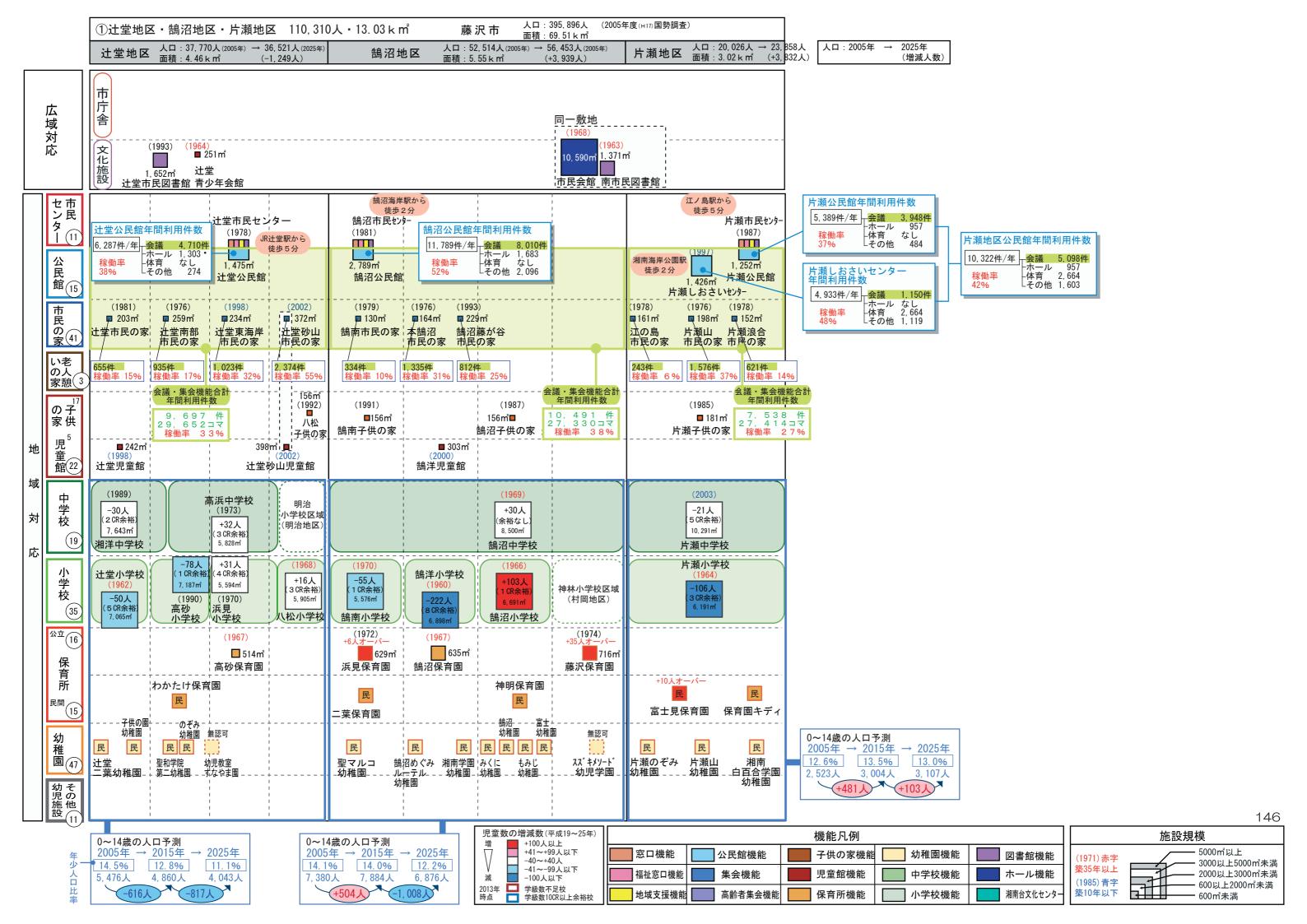
(1) 辻堂地区・鵠沼地区・片瀬地区

表 公共施設一覧



耒

表	表					
	辻堂地区	鵠沼地区	片瀬地区			
人口構成及び変化について	 地区内全人口は、今後 20 年で 1,249 人減少することが予測されている。 そのうち、年少人口は最初の 10 年で大きく減少し、年少人の比率は 14.5%(2005 年)から 11.1%(2025 年)となる予測 生産人口は、40 代前半までが大きく減少し、生産人口比率は 66.9%(2005 年)から 62.1%(2025 年)となる予測 高齢者人口は今後 20 年で急激に増加し、高齢者人口比率は 18.6%(2005 年)から 26.8%(2025 年)となる予測 	 地区内全人口は、今後20年で3,939人増加することが予測されている。 そのうち、年少人口は最初の10年で増加するがその後減少に転じ、年少人口比率は14.1%(2005年)から12.2%(2025年)となる予測 生産人口は30代後半までが大きく減少し、生産人口比率は67.3%(2005年)から63.0%(2025年)となる予測 高齢者人口は今後20年で急激に増加し、高齢者人口比率は18.6%(2005年)から24.8%(2025年)となる予測 	 地区内全人口は、今後 20 年で 3,832 人増加することが予測されている。 そのうち、年少人口は最初の 10 年で大きく増加し、年少人の比率は 12.6%(2005 年)から 13.0%(2025 年)となる予測 生産人口は、30 代後半~50 代前半までが増加するが、生産人口比率は 65.3%(2005 年)から 62.9%(2025 年)となる予測 高齢者人口は今後 20 年で増加し、高齢者人口比率は 22.1%(2005 年)から 24.1%(2025 年)となる予測 			
施設整備状況について	●地区内の公共施設は、市市民で ・公民館1施設、市校6校、市民の 家4施設、小・中学校6市校、 で保育所1施設の計 12 施設 書館が1施設の計 12 施設 書館が1施設の計 12 施設 を発力を表現した規模で、 ・経済では 50 人程で、 ・経済では 50 人程で、 ・は 50 人程で、 ・は 50 人社のののののでは、 ・が、人口構成を生せる。 ・が、人口構成をよれる。 ・はな減少もおいるが、 ・はな減少もあるが、いずれる。 ・理替え時期を迎えている。 ・理替えまれている。 ・はないるが、 ・はな減少もとれる。 ・はな減少もとれる。 ・はな減少もとれる。 ・はな減少もとれる。 ・はな減少もとれる。 ・はなが、 ・はなが、 ・はなが、 ・はな減少もも後は、 ・はながが、 ・はながが、 ・はながが、 ・はながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・ながが、 ・なががが、 ・なががが、 ・ながががががががががががががががががががががががががががががががががががが	●地区内の公共施設は、市市民の 水力をは、市校4を4を2の市では、市校2の市でのでは、市校2を2の市ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100ででは、100でである。ででは、100でである。ででは、100でである。ででは、100でである。ででは、100でである。ででは、100でである。ででは、100でである。ででは、100ででは、100でである。ででは、100ででは、10	●地区内の公共施設は、市民センター・公民館1施設、市民の家3施設、小・中学校2校の計7施設ある。 ● 築30年を経過し大規模改修等が必要な学校は1校で、が中学校の開立が予測であるが人口は増加予測であるが人口、の減少が予測されている。 ●市民の家3施設とも建替も出ている。 ●市民の家3施設とも建替も出ている。			
1日当り公共施設の利用状況について	● 辻堂市民センター・公民館には、1日当り 457 人 次元 の内訳をみると、窓田 が 70 人 (140 件)、公民館図利用が 320 人 (18 件)、市民図館書り、年間 16.4 万人に利用されている。 市民の家は、1施設も19 38 代2~7 件)利用されている。は、1施設も19 38 代2~7 件)利用されているのであるためであるためであるためであるためであるためであるためであるためでであるためでであるためでであるためでは29% ● 公民館の会議・集会機のの会議を主きののの合計を合わせた辻堂地区のの計年間利用者は388人(28 件)で稼働率は33%	● 鵠沼市民り 882 人。 田当り 882 人。 田当り 882 人。 田当り 882 人。 田の内、(81 件)、公民図書 が 40 人(81 件)、公民図書り、る 日前 31.7 万人に対する。 田間 31.7 万人に対する	● 片瀬市民センター・公式の 田当り 401 人の 大窓の 田の内訳をみると、窓館利用が 37人(75件)、公民館利用が 283 人(16 件)、市民図書室 14.4 万人に利用されている。 ● 片瀬公民館分館・片り94人(14 件)が利用されている。 ● 市民の家は、1 施設り 24 件)が利用されている。 ● 市民の家は、1 施設り 24 作)が利用されている。 ● で家全体の稼働の会議・りと 公民館及び分館の会議・と 大の家の計年間利用を 地区の合計年間利用さは、314 人(22 件)で稼働率は 27%			



(2) 藤沢地区・村岡地区

表 公共施設一覧

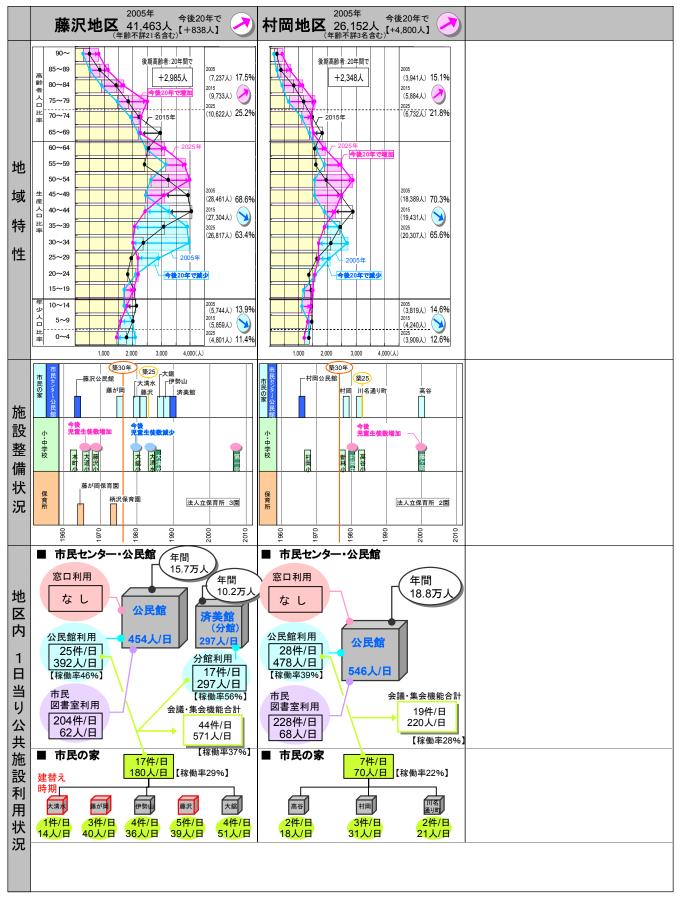
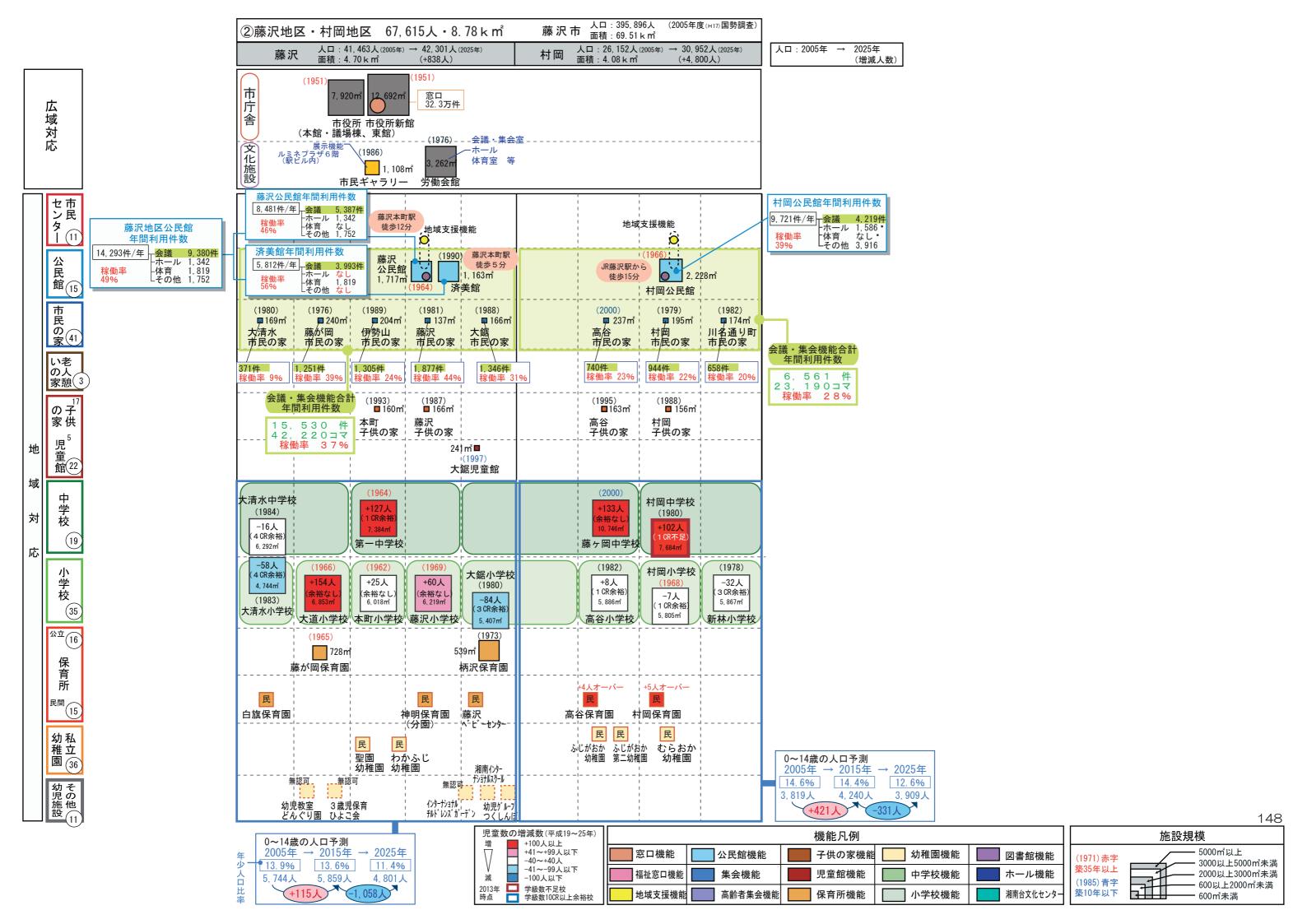


表				
	藤沢地区	村岡地区		
人口構成及び変化について	● 地区内全人口は、今後 20 年で838 人増加することが予測されている。 ● そのうち、年少人口は最初の10 年で増加するがその後減少に転じ、年少人口比率は13.9%(2005年)から11.4%(2025年)となる予測 ● 生産人口は、20代後半~40代前半までが大きく減少し、生産人口比率は68.6%(2005年)から63.4%(2025年)となる予測 ● 高齢者人口は今後 20 年で急激に増加し、高齢者人口比率は17.5%(2005年)から25.2%(2025年)となる予測	 地区内全人口は、今後 20 年で4,800 人増加することが予測されている。 そのうち、年少人口は最初の10 年で増加するがその後減少に転じ、年少人口比率は14.6%(2005年)から12.6%(2025年)となる予測 生産人口は、10代後半と40代以降が増加するが、生産人口比率は70.3%(2005年)から65.6%(2025年)となる予測 高齢者人口は今後 20 年で急激に増加し、高齢者人口比率は15.1%(2005年)から21.8%(2025年)となる予測 		
施設整備状況について	● 地区内の公共施設は、公民館 1施設、公民館分館1施設、市 民の家5施設、小・中学校、市 校、市立保育所2施設の計 16 施設ある。 ● 築 30 年を経過し大規模改そのの 施設ある。 ● が必要な学校は3校で、そののの が、学校には100 人以上児童生徒もあるが、学校により様々である。 ・はは100 大以上児童生校もあるが、学校により様々である。 ・連替え時期を迎えていいずとない。 ・建替え時期を迎えが、いずとない。 ・建替えたの利用となっている。 ・でいる。	 地区内の公共施設は、公民館 1施設、市民の家3施設、小・ 中学校5校の計9施設ある。 築30年を経過し大規模改修等 が必要な学校は1校で、地区 内の学校には100人以上児る 生徒の増加が予測されている 学校もある。 建替え時期を迎えている市民 の家が3施設あるが、いずれも 1日1~5件程度の利用となっ ている。 		
1日当り公共施設の利用状況について	●藤沢公民館には、1日当り 454 人訪れる。利用の内訳をみると、公民館利用が 392 人(25件)、市民図書室利用が 62 人(204件)であり、年間 15.7万人に利用されている。 (市民センターがないため、窓口は市役所を利用している。) ●藤沢公民館分館・済美館は、1日当り 297 人(17件)が利用しており、年間 10.2万人に利用されている。 ・市民の家は、1施設当り 36 人でおり、年間 10.2万人に利用されている。 ●市民の家は、1施設当り 36 人でおり、年間 10.2万人に利用されている。 ●市民の家は、1施設当り 36 人でおり、名の家全体の稼働率は 29% ・経館及び分館の会議・集合機能(会議室・談話室とき、談話を会議を表記を書き、と市民の家の利用を合わせた。 地区の合計年間利用者は 571人(44件)で稼働率は 37%	● 村岡公民館には、1日当り 546 人訪れる。利用の内訳をみると、公民館利用が 478 人(28 件)、市民図書室利用が 68 人(228件)であり、年間 18.8 万人に利用されている。 (市民センターがないため、窓口は市役所を利用している。) ● 市民の家は、1施設当り 23 人(2~3件)利用されている。。 ● 公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民の家の会議を集会機能(会議を合わせた村岡地区の合計年間利用者は 220人(19件)で稼働率は 28%		



(3) 明治地区・湘南大庭地区・善行地区

表 公共施設一覧

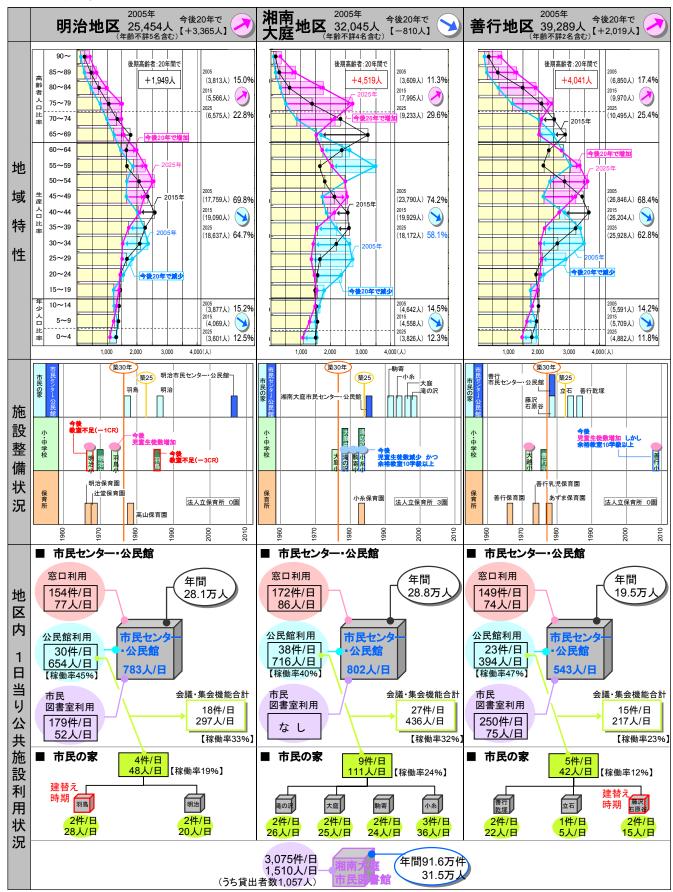
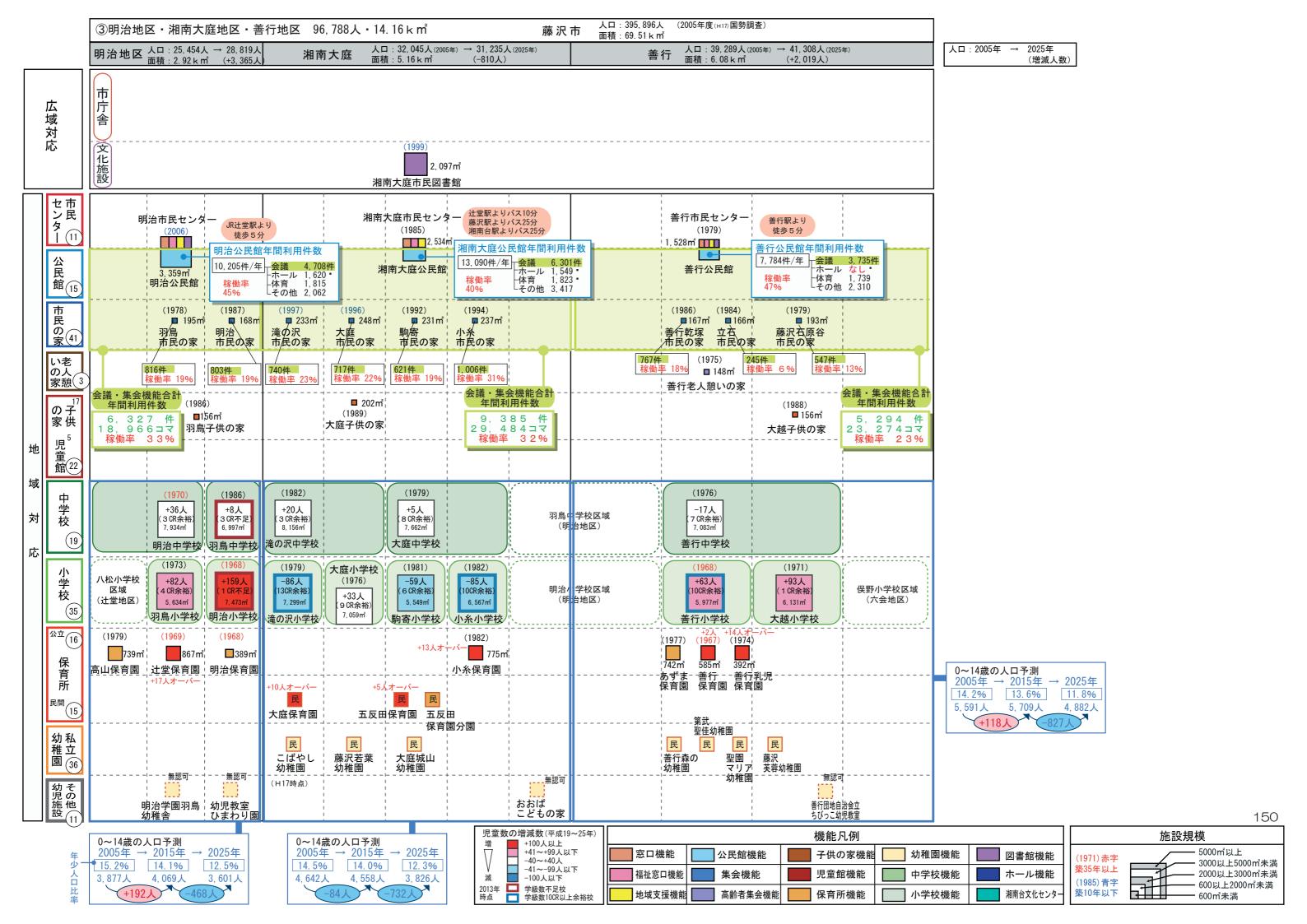


表					
	明治地区	湘南大庭地区	善善行地区		
人口構成及び変化について	 地区内全人口は、今後 20 年で3,365 人増加することが予測されている。 そのうち、年少人口は最初の10 年で増加するがその後減少に転じ、年少人口比率は15.2%(2005年)から12.5%(2025年)となる予測 生産人口は、最初の10年で40代前半~50代前半までが増加するが、生産人口はでが率は69.8%(2005年)から64.7%(2025年)となる予測 高齢者人口は今後20年で急激に増加し、高齢者人口比今後20年となる予測 高齢者人口は今後20年で急激に増加し、高齢者人口比今後205年)となる予測 	 地区内全人口は、今後 20 年で810 人減少することが予測されている。 そのうち、年少人口は 2015~2025 年の10 年で大きく減少し、年少人口比率は 14.5%(2005年)から12.3%(2025年)となる予測 生産人口は10代後半~30代と50代後半以降が大きく減少し、生産人口比率は 74.2%(2005年)から58.1%(2025年)となる予測 高齢者人口は今後20年で急激に増加し、高齢者人口比率は11.3%(2005年)から29.6%(2025年)となる予測 	 地区内全人口は、今後 20 年で 2,019 人増加することが予測されている。 そのうち、年少人口は 2015~ 2025 年の 10 年で大きく減少し、年少人口比率は 14.2% (2005 年)から11.8%(2025 年)となる予測 生産人口は、20 代後半~40 代前半までが大きく減少し、生産人口比率は 68.4%(2005 年)から62.8%(2025 年)となる予測 高齢者人口は今後 20 年で急激に増加し、高齢者人口比率は 17.4%(2005 年)から25.4% (2025 年)となる予測 		
施設整備状況について	● 地区内の公共施設は、市民センター・公民館1施設、市民の家2施設、小・中学校4校、市立保育所3施設の計10施設ある。 ● 築30年を経過し大規模改修等が必要な学校が3校で、その中には児童生徒数が100人ある。らに地区内の中学校では3学級の不足が見込まれる。 ● 建替え時期を迎えている市民の家が1施設あるが、1日2件の利用となっている。	● 地区内の公共施設は、市民センター・公民館1施設、市民の家4施設、小・中学校6校、市立保育所1施設の計13施設ある。 ● 小・中学校は1976~1982年の7年間に集中して建設されてがり間時期に大規模改修手数の調けに大規模改修等表が2校見込まれる。 ● 市民の家は比較的新しいが、いずれも1日2~3件程度の利用となっている。	● 地区内の公共施設は、市民センター・公民館1施設市民の家3施設、小・中学校3校、市設の計10施設の計10施設の計10施設の計10施設の計10施設の計10施設の計10地区の計算をです。その場が予測されている学校は50人程度児童生徒の増加が予測されている学校も1校見込まれている。 ● 建替え時期を迎えている。 ● 建替え時期を迎えている には 50 大銀 で 表記 の家が 1 を見込まれている。		
1日当り公共施設の利用状況について	● 明治市民センター・公民館には、1日当り 783 人訪れる。利用の内訳をみると、窓口利用が 77 人(154 件)、公民館利用が 654 人(30 件)、市民図書り、年間 28.1 万人に利用されている。 ● 市民の家は、1施設当り 24 人(2 件程度)利用されている。市民の家は、1施設当り 24 人(2 件程度)利用されている。市民の家全体の稼働率は 19% ● 公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民の家合利用を合わせた明治地区の合計年間利用者は 297 人(18 件)で稼働率は 33%	● 湘南大庭市民センター・公民館には、1日当り802人訪れる。利用の内訳をみると、窓民節用の内訳をみると、窓民節用716人(38件)年間28.8万市民和市社のでは、16人では、1施設当り27人庭市民の家は、1施設当り27人の家全体の家は、1施設当り27人の家全体の稼働率は24%。金・談話記を出する。本は、2~3件)和財産が集会機能のの家は、1施設当り27人の家全体の稼働を強い。	● 善行市民センター・公民館には、1日当り 543 人訪れる。利用の内訳をみると、窓口利用が 74 人(149 件)、公民館利用が 394 人(23 件)、市民図書り、布間 19.5 万人に利用されている。 ● 市民の家は、1施設当り 14 人(1~2 件)利用されている。市民の家は、1施設当り 14 人(1~2 件)利用されている。市民の家全体の稼働率は 12% 公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民のの合計年間利用者は 217 人(15 件)で稼働率は 23%		



(4) 六会地区・湘南台地区・長後地区

表 公共施設一覧

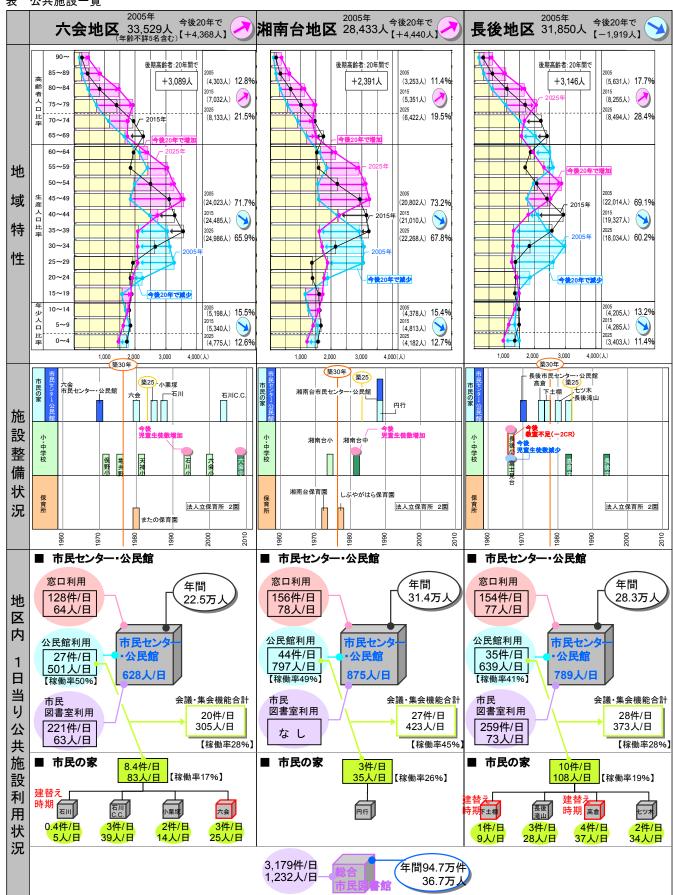
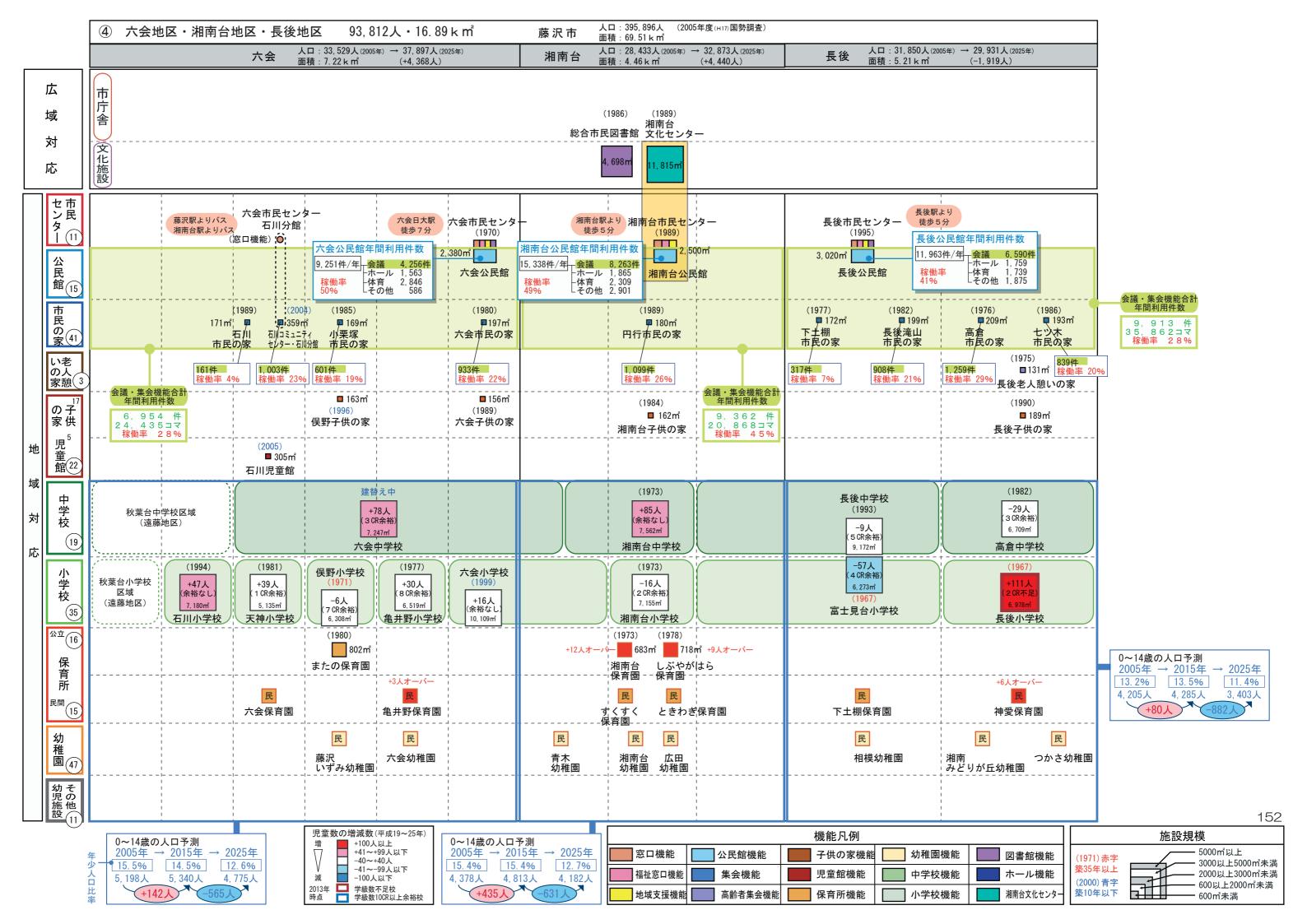
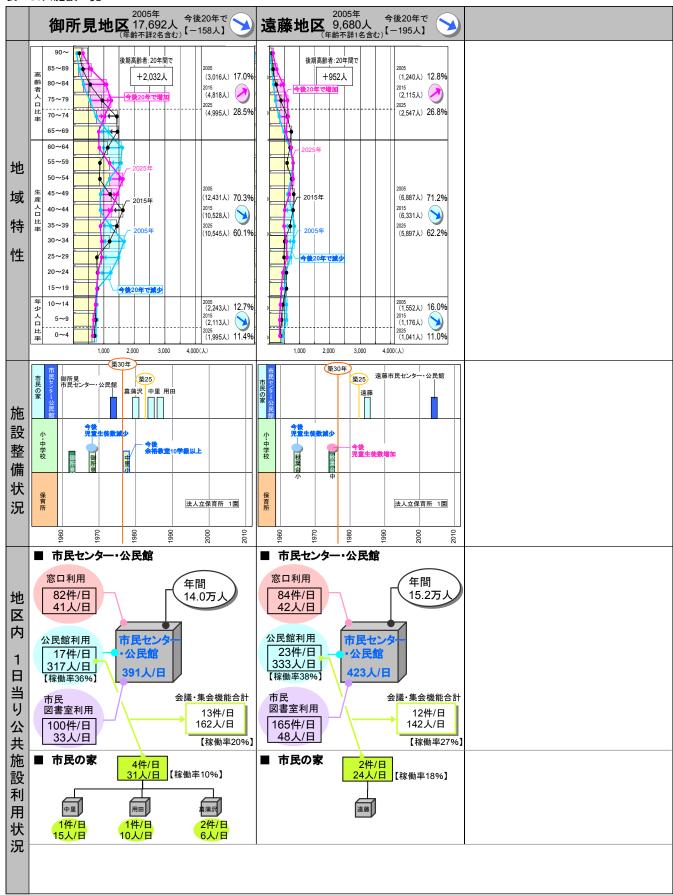


表	表				
	六会地区	湘南台地区	長後地区		
「本方えて翌イルニして	 地区内全人口は、今後 20 年で4,368 人増加することが予測されている。 そのうち、年少人口は最初の10 年で増加するがその後減少に転じ、年少人口比率は15.5%(2005 年)から12.6%(2025 年)となる予測 生産人口は、10代後半と40代以降が増加するが、生産人口比率は71.7%(2005 年)から65.9%(2025 年)となる予測 高齢者人口は今後 20 年で急激に増加し、高齢者人口は今後 20 年で忠は12.8%(2005 年)から21.5%(2025 年)となる予測 地区内の公共施設は、市民センター・公民館1施設、市民の家4施設、小・中学校6校、市立保育所1施設の計12施設あ 	 地区内全人口は、今後 20 年で4,400 人増加することが予測されている。 そのうち、年少人口は最初の10 年で増加するがその後減少に転じ、年少人から12.7%(2005 年)となる予測 生産人口は後半と 40 代後半と 40 代後半以降が増加するが、生産人口はが増加するが、生産人口はである。 生産人口は 10 代後半と 40 代後半以降が増加するの5 年)となる予測 生産人口は 73.2%(2005 年)から67.8%(2025 年)となる予測 高齢者人口は今後 20 年で上、高齢者人口は高齢者が1・14%(2005 年)から19.5%(2025 年)となる予測 地区内の公共施設は、市民の家1施設の十・公民館1施設の計7施設の計7施設の計7施設の計7施設の計7施設の計7施 	● 地区内全人口は、今後 20 年で 1,919 人減少することが予測されている。 ● そのうち、年少人口は最初の 10 年で増加するがその後減に 転じ、年少人から 11.4% (2025年)となる予測 ● 生産人口は、20代~30代※ (2025年)となる予測 ● 生産人口し、生産人から 60.2% (2025年)となる予測 ● 高齢者人口は、高齢者の日に、高齢増加し、高齢者がら 28.4% (2025年)となる予測 ● 地区内の公共施設、市民の家4施設、小・中学校4校の計9施設ある。 ● 築 30 年を経過し大規模改等		
施設整備状況について	● 築 30 年を経過し大規模改修等が必要な学校が2校である。地区内には 50 人程度児童生徒の増加が予測されている学校もあるが、人口構成変化より今後は減少も予測される。	図書館が「施設の計 / 施設の る。 ● 小・中学校は 1973・1981 年に 建設されており今後大規模改 修等が必要となる。中学校は 50人程度児童生徒の増加が予 測されているが、人口構成変 化より今後は減少も予測され る。 ● 市民の家は 1989 年に建設され ており今後 10 年で建替え時期 を迎える。	● 業30 年を経過し入規模以修寺が必要な学校は2校で、50 人程度減少する学校、100人以上急激に増加する学校など様々ある。 ● 建替え時期を迎えている市民の家が2施設あるが、1日 1~4件の利用となっている。		
日当に公共が記の不月礼別してし	● 六会市民センター・公民館には、1日当り 628 人訪れる。利用の内訳をみると、窓口利用が 64 人(128 件)、公民館利用が 501 人(27 件)、市民図書室利用が 63 人(221 件)であり、年間 22.5 万人に利用されている。 ● 市民の家は、1施設当り 20 人(0.4 件~3 件)利用されていない施働もある。市民の家全体の稼働をおいた。17% ● 公民館の会議・集会機能(会議室・談話記を等)と市民の家合計年間利用者は 305 人(20 件)で稼働率は 28%	 利南台市民センター・公民館には、1日当り875人訪れる。利用の内訳をみると、窓口利用が78人(156件)、公民館利用797人(44件)年間31.4万人に利用されている。湘南台市市民の相談を出ているため、電響室を保有していない。 市民の家は、35人(3件)利用されている。稼働率は26% 公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民の家は、35人(3件)利用されている。稼働率は26% 公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民の家利用を合わせた湘南台地区の合計年間利用者は423人(27件)で稼働率は45% 	● 長後市民センター・公民館には、1日当り789 人訪れる。利用の内訳をみると、窓口利用が77人(154件)、公民館利用が639人(35件)、市民図書り、布間28.3万人に利用されている。 ● 市民の家は、1施設当り27人の。市民の家は、1施設当り27人の家全体の稼働率は19% ● 公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民の家の利用を合わせた長後地区の合計年間利用者は373人(28件)で稼働率は28%		



(5) 御所見地区・遠藤地区

表 公共施設一覧



衣	御所見地区	遠藤地区
人口構成及び変化について	 地区内全人口は、今後 20 年で 158 人減少することが予測されて いる。 そのうち、年少人口は微減予測であり、年少人口比率は 12.7% (2005 年)から 11.4%(2025 年)となる予測 生産人口は、20 代~30 代と 50 代後半が減少し、生産人口比率は 70.3%(2005 年)から 60.1% (2025 年)となる予測 高齢者人口は今後 20 年で急激に増加し、高齢者人口比率は 17.0%(2005 年)から 28.5% (2025 年)となる予測 	● 地区内全人口は、今後 20 年で 195 人減少することが予測されて いる。 ● そのうち、年少人口は微減予測であり、年少人口比率は 16.0% (2005 年)から 11.0%(2025 年)となる予測 ● 生産人口は、20 代~40 代前半が減少し、生産人口比率は 71.2%(2005 年)から 62.2% (2025 年)となる予測 ● 高齢者人口は今後 20 年で増加し、高齢者人口比率は 12.8% (2005 年)から 26.8%(2025 年)となる予測
施設整備状況について	 地区内の公共施設は、市民センター・公民館1施設、市民の家3施設、小・中学校3校の計7施設ある。 築30年を経過し大規模改修等が必要な学校が2校であり、そのうち1校は100人以上急激な減少が予測されている。地区内には10学級以上余裕教室保有校が1校見込まれる。 市民の家は3施設とも今後10年で建替え時期を迎えるが、1日1~2件の利用となっている。 	 地区内の公共施設は、市民センター・公民館1施設、市民の家1施設、小・中学校2校の計4施設ある。 小・中学校2校とも築30年を経過し大規模改修等が必要で、その中には児童生徒が100人以上急激に減少する学校や増加する学校など様々ある。 市民の家は今後10年で建替え時期を迎えるが、1日2件の利用となっている。
1日当り公共施設の利用状況について	● 御所見市民センター・公民館には、1日当り391 人訪れる。利用の内訳をみると、窓口利用が41人(82件)、公民館利用が317人(17件)、市民図書室利用が33人(100件)であり、年間14.0万人に利用されている。市民の家は、1施設当り10人(1件~2件)利用されている。市民の家全体の稼働率は10%で、市内で最も低い。 ● 公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民の家利用を合わせた御所見地区の合計年間利用者は162人(13件)で稼働率は20%	 ・遠藤市民センター・公民館には、1日当り423人訪れる。利用の内訳をみると、窓口利用が42人(84件)、公民館利用が333人(23件)、市民図書室利用が48人(165件)であり、年間15.2万人に利用されている。 ・市民の家は、24人(2件)利用されている。市民の家は、24人(2件)利用されている。市民の家は、8% ・公民館の会議・集会機能(会議室・談話室等)と市民の家の利用を合わせた遠藤地区の合計年間利用者は142人(12件)で稼働率は27%

